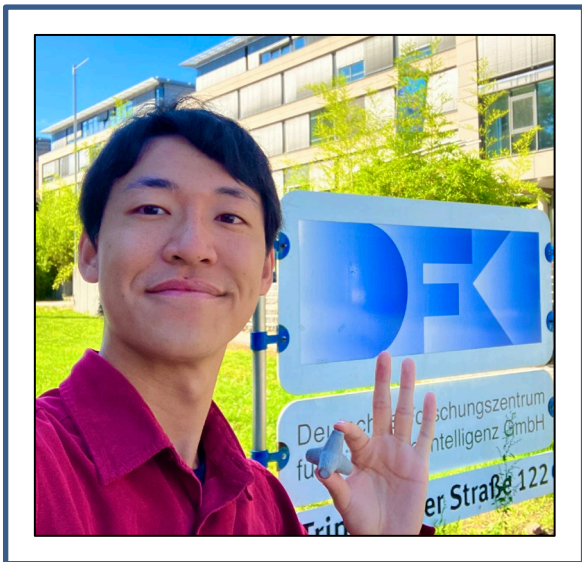


# OMU Students 海外留学レポート



氏名 東村 理功 (Riku Higashimura)  
所属 情報学研究科 基幹情報学専攻  
学年 修士 2 年

留学先 DFKI (ドイツ人工知能研究センター)  
留学期間 2023/9/22~2024/3/22 (M2 後期)

## 留学レポート Study Abroad Report

### ◆なぜ留学をする決断をしたか？

「留学」がしたいとは、今まで一度も思ったことがありませんでした。そんな私がなぜ、留学の決断をしたのかについて話をするために、少しでも私の人生観を話したいと思います。

私が浪人生の時、毎日何時間も机に向かって勉強をしていると、「そもそもなぜこんな辛い思いをして勉強しないといけないのか？」とよく考えていました。私は何か理由がないと勉強のモチベーションが続かなかったからです。そして、この問いを考える中で最後に毎回行き着くのは「なぜ私は生きているのだろうか？」という哲学的な問題です。歴代の偉人でさえも答えが出ていないので、おそらく誰にも共通するような明確な答えはありません。

そこで私が出した答えは、「人生は死ぬまでの暇つぶし」です。どうせ 1 度きりの人生なんだから死ぬまでに幸福度が最大化するような人生を送りたいと思うようになりました。これまでを振り返ると、大変なことや辛いことを乗り越えた時のことは記憶によく残っていて、案外有意義な経験になって楽しかったなと私は思っています。そう考えると、辛いことや大変なことに直面しても、まあどうなるかわからないけどとりあえず全力で取り組めば楽しいか、と何事も取り組むようになりました。

なのでこれ以降、何かを決断しないといけない際は、人生は死ぬまでの暇つぶしであると捉え、後から振り返った時に幸福度が最大化するような方向に決断をするようにしています。

話を留学に戻すと、私は人生の経験(人生の実績解除のような感覚)として「海外での長期生活をしてみたい」という気持ちがありました。海外旅行では到達できないような価値観を手に入れられて、面白そうな経験ができるであろうと思ったからです。この目的をいつか達成したいと考えていたときに、今回の研究留学の機会をいただいたため、即決しました。

しかも私の場合の留学は、研究室の教授の伝手により毎年誰かが留学しているという積み重ねがあります。そして何より、留学先の研究所には日本人のメンターが 1 人居るため、語学力に自信がなくても気持ちさえあればなんとかなるだろうと思っていました。このような安心条件が揃っているチャンスを逃すわけにはいかないのです。英語力は全く自信がなかったもののドイツへ留学することを決意しました。

### ◆留学前に考えていたこと(心配事など)

多少なりとも、私も留学への心配事を考えていたことはありました。

- ・留学先での研究内容は大丈夫か？無事に修了できるか？
- ・修士をドイツ滞在中に修了する場合どうやって修論を進めていくのか？
- ・優秀な研究者たちにめっちゃうめられる日々なのではないか？
- ・語学面で本当にやっていけるのか？
- ・日本にいないとできないことがあった場合どう対処するのか？(内定先の用事や引っ越しなど)

実際にドイツで過ごしてみたら全部杞憂でした。DFKI の研究者には攻撃的な人は誰もいませんでした。日本だと「詰める」という表現があるように、大学院で鬱になる人もいますが留学先にはそういう事象に無縁な環境で、快適そのものでした。また、ドイツに居ながら内定先の手続きや家探しもできたので、留学前の不安は全てただの考えすぎでした。

◆研究について

私は日本の研究室に在籍していた時から、「スマートフォンで英文を読書中の行動データに基づいて学習者に応じた未知単語を推定する」という研究をしていました。留学先でも日本で行なっていた研究をそのまま発展させる形となったので、私がもともと計画していた研究計画をどんどん進めていきました。ドイツにいる人たちにも対人実験をする機会があったので、20人に対して実験を行いました。そのうち16人はインド人であり、残り4人もドイツ人ではなかったですが、これをきっかけに友だちが増えたのでとても良い機会でした。ドイツには優秀なインド人がたくさん居て、私の研究を助けてもらいました。



◆生活について

概ね何も問題なかったですが、やっぱりドイツの食事は日本人には合いません笑。日本みたいにコンビニはありませんし、スーパーにはレンジでチンするだけで美味しく食べられるような食事は全くありませんでした。なので私は、パスタやピザをよく食べていました。地球にイタリア料理が存在したことに感謝です。予想外に1番困ったことは硬水でした。まず、水の味が不味いです。水に味なんてないだろうと日本では思っていました。日本の旅行先の田舎で、この水は美味しいなどと言う人がいましたが私にはわかりませんでした。そんな私でも、硬水は不味いとわかりました。さらに、硬水を拭かずにそのまま放置すると、食器などあらゆるものが白い結晶に覆われます。日本で見る水垢とは違い簡単には取れないので困りました。逆に、私にとって生活面で困ったことはその程度です。人によっては、冬のヨーロッパの気候が合わない人もいます。基本的にずっと曇り空のため暗いです。ビタミン剤を摂取した方が良いかもしれません。

◆ドイツ留学(ヨーロッパ留学)の良さ

地図を見れば明確ですが、ドイツはヨーロッパの中でも、良い感じに真ん中に位置しています。シェンゲン協定を結んでいる国にはパスポートチェックなしで入国できるため、他のEU国に簡単に行けるのが魅力的です。また、ドイツは学生に優しい国です。私が行ったラインラント=プファルツ州では、学生証を持っていると電車やバスが無料で乗り放題でした。また、ユーレイルパスというサービスでチケットを買えば、数千円でEU国内を移動し放題になるサービスが存在します。なので、ヨーロッパ留学する方は是非いろいろな国に行ってみてください。陸続きですがどの国にも特徴があって面白いです。私は週末を利用したり、研究をうまく調整することで14カ国に旅行しました。特に、アイスランドとオーストリアのハルシュタットがおすすめです！都会よりも自然に興味がある方は是非行ってみてください。



### ◆留学での学び

ヨーロッパの優秀な方々とはとにかくみんな優しいです。詰められたことはないですし、ポジティブなフィードバックが多いです。そして多くの方がマルチリンガルでした。多言語を理解している方が周りに多かったため、拙い英語であっても私が喋りたいことの意図を汲み取ってもらえます。特に、学食のランチによく一緒に行ったチリ人とインド人の同僚にはとても感謝しています。

英語という第二言語でコミュニケーションをとることのメリットもありました。英語だと完全には理解しきれないため、日本語でコミュニケーションをとるときに比べて、相手の思考を深読みすることもなく心理的安全性は日本語でのコミュニケーションよりも高かったように思えます。直球で表現する英語の特性も影響しているかもしれません。

日本では、英語ができる人は一目置かれていたように思えます。その影響なのか、私は逆に英語学習へのモチベーションがあまりわかなかったです。しかし、ヨーロッパでは英語を使えることはまず当たり前であり、コミュニケーションツールでしかないということを留学で知りました。多言語を操る同僚のチリ人に言語学習のモチベーションを聞くと、「相手の言語でコミュニケーションを取れると嬉しいから」という本来は当たり前である言語学習の意義に気が付かされました。日本だと英語は進学や就職で有利になるためだけに学んでいることが多かったように思えます。英語を学ぶための本質ではない理由しかありませんでした。しかし今回留学に行ったことで、次に留学で出会った人たちと会うときや日本で外国人に会うときはもっと英語を話せるようになりたいという、英語学習本来の目的のモチベーションができたことは本当によかったです。

### ◆留学で得たこと

上記であげた英語を学ぼうとする気持ちや留学中の論文投稿以外にもたくさんのごちそうを得ました。  
・海外での生活を通じて大体のことはなんとかなるだろうというマインド、キャパシティ、バイタリティ  
・留学中に会ったたくさんの友達(国籍を問わず)  
・外国人だけでなく、一緒に留学へ行った仲間や海外で留学をしている日本人の友達ができただけ  
・同僚のインド人の結婚式への招待(今年の12月にインドで1000人規模で開催するらしく行きたい…)  
・Neuer Wein (発酵途中のワイン)の存在を知ったこと  
帰国後は特に、日本から遠い海外の地に、たくさんの友達ができただけは本当によかったなと思います。ここでできた人間関係は一生ものだなと直感します。



### ◆留学で大変なこと

海外ならではの小問題はありましたが、大きな問題は何もなかったです。小問題の具体例を挙げると、ドイツで住民登録をする際に、一緒に手続きをしに行った留学仲間の2人はすぐにできたにも関わらず、私だけ突き返されて3時間並び直しになり、別の担当者に行けば問題なくできたことなど。そういう感じです。

その他挙げるとするならば、日本とドイツの時差が8時間あるため、内定先や日本の研究室と連絡するにはなかなか時間が合わないことがありました。(大体は朝の7時に起きるなどして対処しました。)それと、これまでずっと実家暮らしだったため、初めての一人暮らしが今回のドイツ留学になり、最初は食事をどうしようか困りました。

### ◆留学するかどうかが迷っている方へ

これを読んでもような人は絶対に行った方がいいです。私自身への戒めでもあります。行動へ移す前に考えすぎて不安になるのはよくないなと思いました。準備することも大事だけど、留学は別に死んだりする危険なことではないので、トラブルがあっても考えてもいいし、解決しないトラブルは存在しないと私は気づきました。何らかの形ではそのトラブルも終了するのでそれでいいじゃんの精神でいきましょう。自分でコントロール不可能な領域は考えても仕方ありません！

